

ケース1 ブランコ作業 *特別教育修了不明 (新宿区若松町/経験30年/一般)



立入禁止区域を確保し、さらに表示板を掲げており、○。



保護帽は、衝撃吸収ライナーのない飛来・落下物用で、×。



清掃用具のコンブスクイジーには、落下阻止のカールコードを使用しており、○。



安全帯は胸ベルト型1本吊り用で、ベルト部分にほつれがあり劣化で、×。さらに、D環を取り外し、カラビナで代替し改造で、2重×。

保護帽の着用	不良：飛来・落下物用を使用
安全帯の装着	不良：胸ベルト型1本吊り用安全帯の劣化・改造
清掃用具の落下阻止の措置	良好：コンブスクイジーにカールコードでOK
立入禁止区域の確保	良好：カラーコーンとコーンバーで区画
ライフラインの設置	良好：地上まで達する
墜落阻止器具の使用	良好：スライド式を使用

GCA 安全パトロール指導員からの指導事項

- 指導事項は、3点。
- ①保護帽は、衝撃吸収ライナー入りの墜落時保護帽を着用するよう指導。
 - ②胸ベルト型安全帯のベルト縫製部がほつれ、劣化しているため交換するよう指導。さらにそのD環を取り外し、その代替としてカラビナを入れて改造しており、製品化された状態で使用するよう指導。*万一、墜落時の衝撃荷重にそのカラビナが耐えられるかは不明。
 - ③メインロープとライフラインを1本のロープを折り返し、中間に8の字結びを施しカラビナでひとつの丸環に連結。そのロープやカラビナ、及び丸環に異常が発生した場合、墜落阻止は不能となるため、メインロープとライフラインは個別のロープとし、個別の吊元を選定するよう指導。ロープ設置ポイントの延長線上の屋上反対面に、別の丸環があり、それをライフラインの吊元にするよう指導。*屋上には、もう1本のライフラインとなるロープが常備されており、作業員はすぐに用意した。個別のロープでライフラインを設けることは知っており、それを怠っていることも問題。

これ以上の閲覧をご希望の方は
こちらからご購入ください。